

- 問1 1970年代後半以降、日本の漁業における「遠洋漁業」の漁獲量は大幅に減少しました。この背景にある国際的なルールの変化と、その後の日本の漁業のあり方の変化について説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 沿岸から200海里までの排他的経済水域が設定され、他国の水域での操業が制限されたため、育てる漁業や資源管理を重視するようになった。 | 2. 世界的な地球温暖化の影響で海水温が上昇したため、日本の漁船は北極圏へ移動し、他国と合同で資源開発を行うようになった。 | 3. 公海での漁業が全面的に禁止されたため、全ての漁船が沿岸から12海里以内の領海でのみ操業し、輸入を大幅に増やす方針に転換した。 | 4. 鉱物資源の採掘が水産資源の確保より優先されることになったため、漁場が石油掘削基地へと変わり、漁業から工業へ労働力が移動した。 |
|--|---|---|---|
- 問2 長野県などの標高が高い地域では、夏の冷涼な気候を活かしてレタスなどの野菜を生産する「高冷地農業」が盛んです。平地での生産が困難な夏季に、出荷時期をあえて遅らせて市場に供給するこの栽培方法の名称を選びなさい。（2022年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 促成栽培 | 4. 二毛作 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問3 トウモロコシやサトウキビなどの植物資源を原料として製造される燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出しても、もともと植物が成長過程で吸収したものであるため大気中の二酸化炭素を増やさないといなされます。このような地球温暖化対策の代替エネルギーとしても注目されている燃料を何と呼びますか。（2016年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|----------|----------|
| 1. 天然ガス | 2. 化石燃料 | 3. 原子力燃料 | 4. バイオ燃料 |
|---------|---------|----------|----------|
- 問4 九州地方において福岡県は、年間の商品販売額が最も多くなっています。このように、都市部で経済を支える中心となっている小売業、卸売業、サービス業などのように、形のないサービスを提供する産業を総称して何と呼びますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 第3次産業 | 2. 重化学工業 | 3. 第2次産業 | 4. 第1次産業 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問5 日本企業の海外生産比率が上昇を続け、2015年には25%近くに達したという統計が見られます。製造業が生産拠点を海外へ移転させる主な理由と、その結果として国内で懸念される状況の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 円安による輸出利益の増加を狙うため、国内の工場をすべて閉鎖して本社機能のみを残す。 | 2. 輸送コストを削減して地産地消を推進するため、国内の農業従事者が製造業へ転職する。 | 3. 海外の安価な労働力を活用してコストを下げるため、国内の関連産業が衰退し雇用が失われる。 | 4. 日本国内の市場を拡大させるため、国内の生産設備を最新のIT技術に置き換える。 |
|--|---|--|---|
- 問6 山梨県において、1970年代から8月の最高気温が上昇傾向にあるという統計データが見られます。このような地球温暖化の影響を受ける中で、従来の品種よりも暑さに強く、10アールあたりの収穫量が90キログラム以上多い新しいコメの品種を開発し、導入する取り組みを何と呼びますか。（2026年 山梨県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 冷害対策 | 2. 化学肥料の増量 | 3. 促成栽培 | 4. 品種改良 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問7 日本の農業産出額の内訳に関する2022年の統計資料において、以下の3つの地域の特徴が見られます。一つ目は、総額が5114億円に達し、その約68%を「畜産」が占める地域。二つ目は、総額が2708億円で「果実」と「野菜」がそれぞれ約33%ずつを占める地域。三つ目は、総額は484億円と比較的規模は小さいものの「米」が約49%と約半分を占める地域です。これら三つの地域に該当する都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 一つ目が鹿児島県、二つ目が長野県、三つ目が石川県 | 2. 一つ目が茨城県、二つ目が長野県、三つ目が石川県 | 3. 一つ目が鹿児島県、二つ目が石川県、三つ目が長野県 | 4. 一つ目が茨城県、二つ目が石川県、三つ目が長野県 |
|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------|----------------------------|
- 問8 日本などの資源が少ない国において、携帯電話やパソコンなどの廃棄された電子機器からレアメタルを回収し、再利用する取り組みが行われています。このような「都市に眠る資源」を何に見立てて呼ぶか、適切なものを選んでください。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|----------|------------|----------|
| 1. 都市鉱山 | 2. 循環型社会 | 3. 産業クラスター | 4. エコタウン |
|---------|----------|------------|----------|
- 問9 多くの過疎地域が、単なる建物の建設や道路の整備といった公共事業だけでなく、移住支援や観光客の誘致に力を入れている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 将来的にその地域を無人化し、広大な自然保護区へと転換することを最終目標としているため | 2. 高齢者の居住エリアを一箇所に集約し、福祉サービスを完全に廃止するための準備として | 3. 土地の価格を大幅に上昇させ、既存の住民が土地を売却して都市へ移住しやすくするため | 4. 地域の雇用や産業を創出することで、持続可能な形で若者の定着や新しい人の流れを生むため |
|---|---|---|---|
- 問10 交通手段の選択において、所要時間が1時間半弱で運賃が1万円程度の「新幹線」と、所要時間が50分で運賃が2万円強の「飛行機」を比較した場合、新幹線が選ばれる理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|----------------------------------|
| 1. 運賃が高速バスよりも安く、移動にかかる経済的負担が最も小さいため | 2. 一度に運べる貨物の量が飛行機よりも多く、物流の拠点として機能しているため | 3. 運賃が飛行機の半分程度に抑えられており、所要時間と費用のバランスが良いため | 4. 飛行機よりも移動時間が短く、目的地に最も早く到着できるため |
|-------------------------------------|---|--|----------------------------------|
- 問11 日本では少子高齢化が進むなか、15歳から64歳までの経済活動を支える中心となる人口が減少しています。この人口を何と呼びますか。（2020年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|-----------|
| 1. 労働力人口 | 2. 年少人口 | 3. 老年人口 | 4. 生産年齢人口 |
|----------|---------|---------|-----------|
- 問12 レタスの生産量が全国第2位である茨城県（2022年統計で約8万6800トン）が、主に冬から春にかけて多くのレタスを出荷できる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 高冷地の厳しい寒さを利用して、害虫の発生を抑えた栽培を行っているため | 2. 冬でも比較的温暖な平野部の気候を活かした栽培が行われているため | 3. 夏場の生産に特化し、冬の間は貯蔵したものを順次出荷しているため | 4. 広大な土地に大規模なスプリングラーを設置し、乾燥した冬の気候を克服しているため |
|---------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|--|